

説明会意見記入用紙による意見

日	意見・質問	回答
11月19日	「子どもから高齢者、更には未来の子供たちのために云々…」市長の言葉、とても虚しく響きました。未来の子供たちのことを考えて、反対と唱えたのではなかったのですか？そこがブレてしまった。始めから、未来についての、子供たちの未来に対しての、熟考がなされていなかったのかなと思っています。経済的観点からのみの、考えであれば、あまりにも浅薄であると言わざるを得ません。基地に反対する者としては、貴殿を選ばざる得なかった私自身に不甲斐無さ、無力感を感じざるを得ません。また防衛省が既成事実を積み重ねてくる中で、見かたによっては条件交渉の最後の砦とも言える市有地、馬毛島小学校跡地も簡単に手放してしまいましたね。防衛省の全くの不誠実な対応を見れば、今後は暖簾に腕押し、糠に釘でこちらの求める対応を実現させることは、更に困難になるでしょう。子どもたちに願うことは、貴殿のような、覚悟のない人間にはなってくれるなよ、ということです。とても悲しい事です。これからこの島は、基地依存の島になっていくでしょう。その中でどれだけの者が、夢や希望をもって未来に羽ばたいていけるでしょうか。この島に残り、そういった子供たちを少しでも支えていくことができればと思っています。市職員の方々も大変でしょうが、未来の島の在り方を考えてください。	ご指摘は真摯にお受けいたします。今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	市長さんとっても大変ですが、負けずに頑張って下さい。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	もう少し市民の皆さんと話し合い、色々な意見を聞き相談して欲しいです。	貴重なご意見として承ります。今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	市長さん苦しいでしょうが、頑張って下さい。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	質問に対する回答が、あまり答えになっているように思えませんでした。賛否を切り離して、行政手続きをして対応しなければならぬ理由が全然理解できませんでした。	ご指摘は真摯にお受けいたします。 国において施設整備が決定され、本市においては、市民の考えを確認したうえで、現実的対応をするため、協議の場の設置を国に求めました。馬毛島への基地整備が決定されていないときは、防衛省は「地元の理解と協力が必要」としており、本市としては、地元が判断できる材料を防衛省に求めているところです。本問題に係る状況は刻々と変わってきており、現実的な対応を進めていく必要があると判断しています。 加えて、防衛省は、各種法令等に基づき、基地整備を行うわけで、そのことに対し、本市が法的に異議を唱えることはできないと考えます。
	駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法の規定に基づき、再編関連特定防衛施設及び再編関連特定周辺市として指定され、令和4年度の再編交付金の交付額が決定されました。 この交付金は、決定された後確定で0円となることは、あるのでしょうか。補助金であれば、確定で0円ということもあると思いますが、交付金は扱いが異なるのでしょうか、ご教示いただけると有難いです。 返事を下さい。	これまでの防衛省の交付金に係る説明を踏まえると、本市が理解している範囲では、再編交付金に係る事業も他の国庫補助事業と同様のものと考えています。
	苦渋の決断をされたことでしょう。素晴らしい行動です！市長には、賛成反対の垣根を越えてこれからも頑張ってほしいです。質問にだって全てに答えられなくて良いんです。未来がどうなるかは誰にもわかりません、市長として、一市民としてがんばる八坂俊輔を応援しています。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	今、馬毛島問題で議論している場合ではないと思う。種子島が危ない！！ 「個々が考えてほしい」とのことだったが、個々が考えた意見を大切に聞いてくれるんですか？	ご指摘は真摯にお受けいたします。皆様から寄せられた貴重なご意見を反映することができるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
	説明を聞き、島民の安全安心に不安が増大した。基地反対を明確に打ち出してほしい。	ご指摘は真摯にお受けいたします。今後も市民の皆様への不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、これまでの説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。

・デモフライトは、実際に騒音体験した者として、あまりにもおかしい。プロペラ（デシプロ）の騒音より静かだったと思う。 ・嘘のない話合いを希望します。	デモフライト時の音の状況は、馬毛島だより（第3号・4号、市ホームページにも掲載）にてお示ししています。少しでも、市民の皆様の不安解消のため、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
・年間の飛行回数の中の有視界飛行方式時の高度600フィート（180m）は波から計るのかどうか説明が欲しい。新しく高度が低くなっていると聞いているがそれも教えてほしい。 ・自衛隊の機種と米軍の機種は同じ機種ではありませんが、どのような大きさで、どのような音の違いがあるのか知らせる方法はないのでしょうか？ ・米軍の基地ができるということは、オスプレイを日常飛行するという意味が日常におこるのか知りたい。 ・FCLPの飛行経路でデモ飛行できないのか？アメリカ本土でもしない訓練を離島であるということ、パイロットの安全性だけで行ってよいか理不尽 ・基地作りより、シェルターの確保が先ではないでしょうか？愚問でしょうか。 第1に平和の為の交渉をしてと国に伝えてください。	・防衛省によるとFCLPの高度の考え方は、拠点飛行場の標高に所定の高度（有視界飛行方式では約600フィート、計器飛行方式では約1200フィート）を加えたものであると認識しているとのこと。 ・航空自衛隊のF-15と米軍機のFA-18は双発のジェットエンジンであり、音の聞こえ方は個人によって異なるようです。また、R4.4.11～12で行った岩国飛行場の視察で、FA-18の音量について確認したところ、海兵隊のF-35Bと比較すると一般的に離陸の方がF-35Bが大きく、着陸はFA-18の方が大きくなるようです。艦載機部隊で言えば、FA-18よりEA-18の方が騒音は大きいとのこと。騒音状況は、離着陸の方法により大きく異なるようです。 ・環境影響評価準備書において、現在の計画において、米軍は、空母艦載機着陸訓練（FCLP）を実施する際、一時的にこの基地を使用するのみであり、FCLP以外の米軍の訓練について、日米共同訓練も含め、具体的な計画はないとしています。 ・貴重なご意見として承ります。いただいたこのご意見は、防衛省へおつなぎします。防衛省は協議の場で、デモフライトは実際のFCLPに近い方法で実施したことを述べています。 ・貴重なご意見として承ります。いただいたこのご意見は、防衛省へおつなぎします。
防衛省は、馬毛島の土地99%を買収し、土地代160億円を支払ったとなっています。買った土地の88%しか所有権登記ができていない。12%未登記のまま、工事着工は出来ないと考える。市長からも防衛省にただす必要があると思う。	貴重なご意見として承ります。いただいたこのご意見は、防衛省へおつなぎします。 今般の住民説明会でも、抵当権等が設定されている土地など瑕疵のある土地を使うことはできないとのことご意見もありましたが、国が土地取得を進めるうえで、法的に問題があれば国会や会計検査等で指摘されるでしょうし、現時点において本市が国の土地取得について、特に意見を述べることはないと判断しています。 加えて、防衛省は、各種法令等に基づき、基地整備を行うわけで、そのことに対し、本市が法的に異議を唱えることはできないと考えます。
ますます市長の本心が分からなくなりました。2年前の市長選に出馬される時点でのあの演説（馬毛島基地化反対）は何だったのでしょうか。	ご指摘は真摯にお受けいたします。今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
市長さん、副市長さん、これまで通りしっかり頑張って下さい。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
市長お疲れ様です。この大変な難局を乗り越えることをいつも心から願っています。市長の立場を考えてくれる市民を一人でも多く理解していただけるよう、微力ながら協力したいと思います。市長頑張って下さい。心から応援しています。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
・現在馬毛島は事業施設が生きているのはなぜ ・環境影響、評価は市民は馬毛島に行かれない現実なのに ・環境影響住民は立ち会わせないのですか ・現実事故がおきた場合はどんな対応ができるのか（飛行事） ・人口が増す（外から多くなる）為生活が不安です。（生活安全のため、どんなことをしてくれるのか） ・市民はもう馬毛島に行かれないのですか。 ・市民はなぜ受け止めなければならないのか、反対します	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。 独立した国において、国防は、不可欠な政策であります。市民生活を脅かさず、市民の安心・安全を高めていく政策で、市民の理解が得られる範囲であれば、協力していく必要があると判断しています。また一方で、首長の立場として、市民の生命と財産を守り、市民生活の福祉の向上を目指していくためには、必要があれば国に対して意見を述べていくことも、市民に対する当然の責務であると考えています。 馬毛島への渡航は、馬毛島のほとんどが国有化されており、本市も渡航の際は、防衛省や地権者に立入りの了解をいただき入島しています。民間の方も同様の手続きが必要かと思います。
得るものが大きいので是非馬毛を進めてほしい。きれいな事言っておれない。市の財政事情があります。他にこれほどのおおきな財源取得は困難だと思う。	貴重なご意見として承ります。今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
・市長として取るべき道は、選挙の時の公約をしっかり守ること。 ・基地のあるところでは全国各地で裁判になっていまだに、解決に至っていない ・種子島を第2の辺野古（沖縄）にしてみませんか	ご指摘は真摯にお受けいたします。今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。

11月20日	貴方は基地建設には反対と公約をして当選したはずですが。公約違反ではないというが公約違反も甚だしい。今年になって反対という言葉は一度も出てきません。貴方がはっきりしないから市民を分断させているのです。貴方の責任は重大です。反対をはっきり言えば連絡会、各種団体は必要ないのです。貴方が出している馬毛島関連の本もいろいろ読ませてもらいましたが、この本を全否定するものです。先程の方が言われたように、反対と言えば貴方の肩の荷もおります。反対を言えばこれから応援していきます。	ご指摘は真摯にお受けいたします。今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	ここ最近ですが、自衛隊を何名か見かけられるようになりました。戦争が現実になってしまうのかと不安になります。逃げることも出来ないとも聞きました。そんな種子島には居たくありません。安心安全な生活が送れるのでしょうか？	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
	早まったりコールは止めてほしい 市長は公約は忘れていないと言っているのだから、もうしばらく見守っていききたい。時期が来たらと仰っているのだから。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	川迎の宿舎についてどのような施設になるのか、下西小の通学路があり、子供たちの安全が守られるのか、交通量が増えると推測される。また、上方には介護施設もあり、穏やかに過ごしている人たちがどうなるのか問題がおきてからでは、遅すぎる。慎重に対応してもらいたい。	ご指摘のように、川迎地域に宿舎が整備される計画であり、工事から供用後の懸念事項について、引き続き、防衛省と協議を重ねてまいります。
	自衛隊と米軍の一体化が進んでいる中で、基地でもないところで共同訓練が行われていることを考えると、馬毛島では米軍はFCLPしかないという防衛省の説明は、信じがたい。臨時的に行われる訓練については、自治体の許可をその都度取っているのだと思いますが、その頻度や規模がどんどん大きくなると、米軍基地とあまり変わらなくなっていくと思います。その受け入れや拒否、どこまでという線引きについて、市はどう考えているのか。8月に示された確認事項と防衛省の回答と読んでいて、とても不安に思いました。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
	・横風用滑走路使用時に、飛行角度がかなり低くなるとしたら、騒音予測コンターを書き換えないといけない。準備書の不備で影響は大きい。騒音が国が認める基準として、告示コンターがある。西之表に影響が最も大きくなるのは、横風用使用時、自衛隊は通年的、米軍利用も拡大する。横風用の使用率は2%にとどまらない。防衛省の説明のごまかしを明確にさせよ。 ・馬毛島も第一列島線に造られつつある基地はアメリカを守るため。そのことも市長訴えて、市職員とも共有してほしい。2月を待たずとも防衛省の本体工事着手前までには、明確な反対して。	・防衛省へ確認したところ、横風用滑走路を使用する場合であっても、FCLPを実施する際の飛行高度や滑走路への進入角度は、主滑走路を使用する場合と同じとのこと。 ・貴重なご意見として承ります。ただ、国防は重要であり、市民の安心・安全を守る立場から総合的に勘案し、判断してまいりたいと思います。
	10年、20年、30年先のことを考えてください。自然は壊されると元に戻らない。平和な世の中が一番	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様の不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。
	・賛否の時期は ・近いうちに出るということですが、ほんとに考えているのか疑問 ・防衛省のいいなり、自身の考えが伝わっていない ・環境やアセスメントの結果を待ち、必要ないと思う ・タケノコ山岳をなくさないで（子供の教育に生かすべき） ・戦争に一番近い島 ・日本で一番美しい星空を壊さないで下さい ・市長逆転ホームランありますか	ご指摘は真摯にお受けいたします。今後も市民の皆様の不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、これまでの説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
	昨日は出しませんでしたけど、今日の私の気持ちは、みんな頑張りますので元気を出してください。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
	市長もう辞めてくれ	ご期待に沿えず大変申し訳なく存じます。微力ではありますが市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。

騒音…飛行経路を外れることは「訓練」だから上手下手があり日常茶飯事となる。迷惑そのものだ
事件事故の危険性…米軍人による事件事故、先日鹿屋市で交通事故があった。宮崎新田原では、市は基地内に宿泊するように要求していたが、市内のホテルに宿泊した。鹿屋では、時間外のホテルからの外出は無制限である。不安がいっぱい。土地売却は中止してください。

防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。

独立した国において、国防は、不可欠な政策であります。市民生活を脅かさず、市民の安心・安全を高めていく政策で、市民の理解が得られる範囲であれば、協力していく必要があると判断しています。また一方で、首長の立場として、市民の生命と財産を守り、市民生活の福祉の向上を目指していくためには、必要があれば国に対して意見を述べていくことも、市民に対する当然の責務であると考えています

今般の住民説明会でも、抵当権等が設定されている土地など瑕疵のある土地を使うことはできないのご意見もありましたが、国が土地取得を進めるうえで、法的に問題があれば国会や会計検査等で指摘されるでしょうし、現時点において本市が国の土地取得について、特に意見を述べることはないと判断しています。
加えて、防衛省は、各種法令等に基づき、基地整備を行うわけで、そのことに対し、本市が法的に異議を唱えることはできないと考えます。